

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2009-11-20

APM news 013

秋山孝ポスター美術館 長岡 歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

北澤楽天顕彰会会報「らくてん」第38号に掲載 会員のひろば no.13 (2009年9月1日)

秋山孝ポスター美術館長岡 開館！

2009年7月11日「秋山孝ポスター美術館長岡」の開館式典が行われた。梅雨の時期に花火と共に突然晴れやかな日が現れ、森民夫・長岡市市長始め数多くの著名人が参列した。その中でテープカットが始まり、華やかな開館式典とオープニングが開かれた。翌日の開館には市民が数多く集まり、美術館の扉が開いた。歴史的建造物旧北越銀行修復後の輝くような白い壁の中に、鮮やかな色彩を持ったメッセージポスターの美しさが表れ出した。その感動と共感、ため息と共に静かなささやきが響き渡り、その空間を包み込んだ。開館記念「秋山孝ポスター展」が10月9日(金)まで開催される。歴史ある醸造の街に超モダンなポスターデザインの世界が開いた。新しい文化がスタートし、秋山孝ポスター美術館サポーターズ倶楽部の支援のもとに市民が作り上げた美術館が誕生した。

「秋山孝ポスター美術館長岡」の建物は1925年(大正14)に建設され、北越銀行宮内支店として宮内・撰田屋地区の人々に貢献した。その建物が度重なる地震などによって老朽化し、歴史的建造物として修復され、瀟灑な美術館に生まれ変わった。

新潟県長岡市は、いくつもの難儀を背負ってきた街である。しかし東山と信濃川からの美しい自然と恵みによって「豊かな美を感じる精神」を育んできた。ぼくはこの街で生まれ、先祖代々認識できない程長きに渡ってこの地に暮らしてきた。その文化と自然は、ぼくの「クリエイティブスピリット(魂)」を作り、「根源的な美意識」に大きく影響を与えた。その結果、数多くの作品が生まれた。

この美術館ができる経緯は、1999年「しなの川音楽祭」のイベントとして、新潟県立近代美術館ギャラリーにおいて「秋山孝の世界展」を3年連続開催した。その展示作品を中心に532点の作品が「秋山孝長岡コレクション」として長岡市のコレクションとなった。その後、2008年「秋山孝ポスター美術館長岡」の案が地元宮内・撰田屋地区の高田清太郎氏、田上紘三郎氏らの発案とともに地元多くの協力を得て実現に至った。

美術館(ミュージアム)は紀元前3世紀エジプトのアレキサンドリアに設けられた、総合学術機関ムセイオンに由来する。本美術館はイラストレーションとポスターを国際的に研究しそこから導びかれた、必然性のある展示をする予定である。

また、小林虎三郎の「米百俵の精神」にあるように、1868年(慶応4)の戊辰戦争に敗れた長岡藩において「どんな苦境にあっても教育をおろそかにできない」と主張し、国漢学校を開校した。教育が「長岡を立て直す一番確かな道」と説いた。その精神を受け継いだ教育のある受発信する美術館だ。

この美術館を中心として、長岡の「雪・山・川・味噌・醤油・酒・蔵」旧三国街道の宮内・撰田屋地域全体の魅力を再発見し、歴史のある醸造の街とモダンデザインの文化を紡ぎ合わせ、街全体を美術館と考え新たな街づくりの実現を目指している。

北澤楽天顕彰会会報「らくてん」第38号・「会員のひろば」No.13・2009年9月1日発行
編集発行：北澤楽天顕彰会(さいたま市立漫画会館内)
前回は会報らくてん第35号に「根本進さんと私」を執筆した。



「秋山孝ポスター美術館長岡」の開館式典・オープニングに集い開館の喜びと未来について語り合う。左より 森民夫(長岡市長)、牧野忠昌(長岡藩牧野家17代当主)、秋山孝(多摩美術大学教授)、勝井三雄(日本グラフィックデザイナー協会会長)、豊口協(長岡造形大学理事長)



テープカット/手前より秋山孝、牧野忠昌、豊口協、森民夫、久須美隆(北越銀行頭取)、勝井三雄、中島祥文(多摩美術大学教授・理事)



オープニング・レセプション/(右) 高田清太郎(サポーターズ倶楽部会長)、(左) 田上紘三郎(副会長)